DASH / QuickDASH　結果の記録

独自の記録補助票｜公式質問票・正式な評価用紙ではありません。
公式日本語版での回答・採点結果と併用してください。単独では実施できません。

対象者ID：_____ 評価日：____年___月___日 記録者：_____

使用版：DASH-JSSH ／ QuickDASH-JSSH　　回答対象：先週1週間

回答者：本人　　回答方法・補助者氏名／関係：_____

回答条件・補助の内容（代筆等）／本人の選択を確認した方法

日常の装具・自助具・人による介助／前回から変わった条件

公式用紙からの結果転記

本体：回答数 n＝_____ ／ 全項目数_____　未回答数_____　回答合計 S＝_____

本体スコア：_____ / 100　　算出可否・算出できない理由：_____

仕事：_____ / 100　　スポーツ・芸術活動：_____ / 100

各選択領域の実施有無・回答数・未算出理由：_____

未回答の項目番号・理由／未実施・回答が成立しなかった理由

本人の言葉で残す困りごと（尺度の質問文・採点項目ではない）

公式採点規則の確認（質問票の再掲ではありません）

本体＝(S ÷ n − 1) × 25。DASHは27/30以上、QuickDASHは10/11以上の回答。
選択領域は各4/4回答で別々に計算。未回答を0点にせず、総合点に合算しません。
採点資料：dash.iwh.on.ca/scoring-instructions　日本語版提供：日本手外科学会

DASH / QuickDASH　経過と支援

独自の記録補助票｜公式質問票・正式な評価用紙ではありません。
公式日本語版での回答・採点結果と併用してください。単独では実施できません。

対象者ID：_____　記録日：____年___月___日　記録者：_____

経過比較｜同じ尺度・日本語版を継続。数値低下は困難・症状が小さい方向。

日付	使用尺度	回答数	スコア	条件の変更

本人が優先する生活課題・達成したいこと（自由記載）

追加で確認した所見・動作／本人の回答との違い

支援計画（内容・担当・期間）／次回確認日

記録上の注意

・DASHとQuickDASHの得点を、同じ尺度の連続値として扱わない。
・点数だけで重症度、復職、安全性、介入効果を断定しない。
・本人の自己回答と家族・支援者からの情報を分けて記録する。

公式用紙：https://jssh.or.jp/doctor/jp/infomation/dash.html

DASH / QuickDASH © Institute for Work & Health. 本票はSTROKE LAB独自編集。